

2026年2月27日

## 第1回中高生ロケットチャレンジ全国大会 書類審査 要項

和歌山県宇宙教育研究会

### 1. 目的

- (1) ロケットの面白さや魅力を感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
- (2) 理工系分野への進路選択を後押しすること。
- (3) 中高生ロケットチャレンジ全国大会への出場チームを決めること。

2. 受付日時：2026年2月18日（水）～5月22日（金）

3. 結果発表日：2026年5月下旬

4. 主催：和歌山県宇宙教育研究会

### 5. 審査内容

水ロケット（ペットボトルロケット）、またはモデルロケットの研究内容をまとめたレポートを提出し、その内容の審査を行う。

6. 参加資格：以下の（1）（2）（モデルロケット部門は（3）も）をすべて満たすこと

- (1) 同一校の中学1年生から高校3年生（高等専門学校生は3年生まで）の1人以上3人以下のチーム。同一校からの複数エントリー可。同一選手の同一部門の複数エントリーは不可。
- (2) 学校長の承認を得た教員が引率すること。引率教員は複数チームを率いてもよい。
  - ・ 以下の（3）はモデルロケット部門のみ
- (3) チーム内の誰か1人がモデルロケットライセンス4級以上を所持している。

7. 大会申し込み先・お問い合わせ先

兵庫県立芦屋国際中等教育学校 明田 昌裕 Eメール [s704861@hyogo-c.ed.jp](mailto:s704861@hyogo-c.ed.jp)

8. 中高生ロケットチャレンジ全国大会について

日時 2026年7月23日（木）～24日（金）

場所 和歌山県立潮岬青少年の家 グラウンド

〒649-3502 和歌山県東牟婁郡串本町潮岬 669 TEL:0735-62-6045

※ 宿泊施設が必要な場合は、各チームで周辺の宿泊施設を手配してください。（7月22日から24日まで潮岬青少年の家は満員で宿泊できません）。

9. その他：参加料は無料。審査結果等に関する問い合わせには応じられません。

## 参考

### 10. 全国大会競技規定

#### I. モデルロケット部門（National Class および World Class の 2 部門とする）

- (1) ロケットが発射してから着地するまでの時間を記録し、滞空時間の長さを競う。  
滞空時間は 1/10 秒単位まで記録し、1/100 秒の数値は切り捨てる。
- (2) 各チーム 2 回発射し、良い方の記録がそのチームの記録となる。
- (3) ロケットはパラシュートを用いて、ノーズコーン、ボディチューブ、フィンを分離せずに回収すること。
- (4) 以下の場合失格となる。
  - ① パラシュートが開かなかった場合
  - ② 競技会場の敷地から外に出た場合
  - ③ ロケットが着地までに破損した場合
- (5) 使用エンジン  
National Class : 1/2A クラス  
World Class : 1/2A クラスまたは A クラス  
※各チームで用意すること。他のエンジンは不可。
- (6) 機体
  - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム 2 本用意すること。
  - ② 直径：National Class は 24mm 以上 World Class は 40mm 以上とする。  
また、ロケット全長の 50%以上をボディチューブが占めること。
  - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
  - ④ 機体を構成する部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。  
ただし、エンジンを固定するエンジンフックを除く。
  - ⑤ 機体（ボディチューブ）の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
  - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
  - ⑦ 市販のものをそのまま使用することは不可とし、設計・製作に主体的に取り組んだ機体であること。
  - ⑧ リカバリーシステムはパラシュートのみとし、パラシュート、ノーズ、ボディチューブ、フィンが分離せずに回収できるもの。
  - ⑨ エンジンの取り外しが容易にできること。機体審査時にエンジンの確認あり。
- (7) 発射台・発射ボタン
  - ・ 大会主催者が『エステス 1256 アルファーⅢモデルロケット組み立てキット』に入っているものを用意する。

## II. 水ロケット部門

- (1) 50メートル先の目標点を目指して飛ばし、目標点に近づけられるかを競う。ロケットの最終到達点と目標地点との距離を cm 単位まで記録し、mm 単位は切り捨てる。
- (2) 各チーム 2 回発射する。
- (3) ロケットはノーズコーン、ボディ、フィンを分離せずに回収すること。
- (4) ロケットが着地までに破損した場合は失格とする。
- (5) ロケットに入れる最大気圧は 5 bar とする。
- (6) 機体
  - ① ロケットはあらかじめ完成したものを、各チーム 2 本用意すること。
  - ② 炭酸飲料用の円形のペットボトルを使ったものとする。
  - ③ 競技で使用される機体は、事前に安全な飛行が行えることが確認されていること。
  - ④ 機体を構成する主たる部材は、紙、木、プラスチックなどの非金属を用いて製作すること。
  - ⑤ 機体（ボディ部）の外装に、容易に判読できる文字でチーム名を明記すること。
  - ⑥ 機体の外表面は、原則としてフィンとノーズ以外は鋭利な形状の部分があってはならない。
  - ⑦ 市販のキットをそのまま使用することは不可とし、設計、製作に主体的に取り組んだ機体であること
- (8) 発射台
  - ・ 大会主催者が『タカギペットボトルロケット製作キット』を用意する。

○提出レポート

- ・あなたが製作した水ロケット（またはモデルロケット）について、設計や製作において工夫した点、その理由、試行や実験を通して考えたこと、さらに大会に向けた改良案を含めて、600字～1200字でまとめなさい。

（提出形式：A4 縦・PDF 形式・フォント自由・参加申込書と一緒にメールで提出すること）

「第1回中高生ロケットチャレンジ全国大会 書類審査」申込書

令和8年 月 日

1. 学校

学校名	
校長名	
住所	〒
電話	
Email	

2. 参加生徒（学年は中学・高校に○をつけてください）

※ 複数チームをエントリーする場合は、この用紙を複製してご記入ください

※ ライセンスナンバーはモデルロケット部門に出場する場合のみ記入してください

チーム名		部門 (○をつけて ください)	・モデルロケット National Class ・モデルロケット World Class ・水ロケット部門
引率教員	フリガナ 氏名		
参加生徒 1	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	
参加生徒 2	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	
参加生徒 3	フリガナ 氏名	( 中学 ・ 高校 年 男・女 ) ライセンスナンバー ( )	

3. その他 ※連絡事項などがありましたら、以下にお書きください。

※ 当日撮影した写真や動画などの一部が、テレビ・新聞・雑誌・Web等へ掲載される場合があります。あらかじめご了承ください。

申込先 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 教諭 明田 昌裕

メール [s704861@hyogo-c.ed.jp](mailto:s704861@hyogo-c.ed.jp) 受付日時 2026年2月18日(水)～5月22日(金)